

哲學研究

第四卷 第八册

第十四號

大正八年八月一日發行



大正五年四月六日第三種郵便物認可
大正八年七月二十七日印刷納本（每月一回一日發行）

デカールの「規則論」に於ける「直覺」……………

…………… 文學博士 朝永三十郎

感覺の強度に關する疑義…………… 文學士 檜崎淺太郎

フィンセント・ファン・ホッフ…………… 文學士 植田壽藏

フイヒテの道德學に就ての考察……………

…………… 文學士 世良壽男

彙報……………

新刊紹介……………

京都帝國大學文學部

京都哲學會



京都哲學會規則

第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス

第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス

第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ

一、毎月一回研究会ヲ開ク

一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク

一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス

第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク

第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メ左ノ役員ヲ置ク

一、委員(若干名) 京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會

ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス

第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得

學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スル

コトヲ得

第七條 會員ハ會費トシテ年貳圓八拾錢、前後二期ニ分チテ前納ス

ベキモノトス

第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲

學研究』ノ配付ヲ受ク

第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士 波多野精一

文學博士 西田幾多郎

文學博士 朝永三十郎

文學士 千葉胤成

文學博士 狩野直喜

文學博士 米田庄太郎

文學博士 高瀬武次郎

文學士 植田壽藏

文學博士 野上俊夫

文學博士 松本文三郎

文學博士 深田康算

文學博士 藤井健治郎

文學博士 小西重直

書記

寶嚴方治

依つて能事終れりとなす様な教師には特に本書の熟讀をすゝめると共に、かくの如く大きな本書を敢て全譯された譯者の勞を多とする。東京、洛陽堂、出版、定價參圓八拾錢。(深田武)

寄贈書籍雜誌

社會學原理 文學士高田保馬著 著者
自我批判の哲學 野村櫻野著 大同館

印度佛敎思想史 橋惠勝著 同
哲學雜誌、丁西倫理講演集、心理研究、東洋哲學六合雜誌、東亞之光、無盡燈、六條學報、早稻田文學、文化運動、學校教育、教育、内外教育評論、國民教育、教育研究、教育時論 現代教育、東京教育、京都教育、奈良縣教育、静岡縣教育、近江教育、岐阜縣教育、三重教育、信濃教育、佐賀縣教育、藝備教育、長崎教育雜誌、宮城教育、愛媛教育、秋田縣教育雜誌、

前 號 目 次

支那の靈神に就て……………	文學博士 狩野直喜
シエルリングに於ける絕對者の概念……………	文學士 久保正夫
無意識(完結)……………	文學士 千葉胤成
カントの歴史哲學(承前)……………	文學士 米田庄太郎
形式論理學の對象……………	文學士 安部晴之助
彙報	

會

告

一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ御申込被下度候
 一、會員ニシテ轉居セラレタル節ハ直チニ其旨御報知被下度候
 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六參番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・交換雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學
 文學部内
 振替口座大阪參〇六六參番
 京都哲學會

定價

冊	數	定	價	郵	稅
一冊	冊	金	貳拾五錢	一	壹錢
六冊	冊	金	壹圓五拾錢	一	不
十二冊	冊	金	參圓	一	不

廣告知料 一頁 金拾圓 半頁 金六圓

註文規

◎會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は賢文館へ御申込下され度候
 ◎本誌の御註文はすべて代金郵稅前金にて御送り下さるべく候
 ◎振替貯金にて御送金は(東京二八〇番)賢文館宛に願上候
 ◎前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
 ◎見本御入用の場合は金貳拾錢御送り下され度候
 ◎特に請求書及領收書等を要する場合は郵券三錢御送付下され度候

大正八年七月二十七日印刷納本
 大正八年八月一日發行
 第四十一號 第八册

京都帝國大學文學部内

京都哲學會

右代表者

寶嚴方治

發行者

大葉久吉
東京市日本橋區本石町三丁目十七番地

印刷者

青柳十一郎
東京市牛込區市谷御寶町一丁目十二番地

印刷所

秀英舎第一工場



發行所

東京日本橋區本石町三丁目
 (振替口座東京二八〇番)

寶文館

發賣元

東京市日本橋區本石町三丁目
 大阪市東區淡路町四丁目

寶文館

賣捌所

(東京) 東京堂、東海堂、北隆館、
 良明堂、上田屋
 (大阪) 盛文館
 (京都) 寶文館 (神戸) 寶文館

◀ 著名の讀必下刻 ▶

廣島高等師範學校教授 文學士 高田保馬著

最新刊

社會學的研究

布裝全壹册
定價金貳圓
送料金二十錢

著者、社會學の研鑽に従事せらるゝこと既に十年、常に斯學の純理に没頭して、其發達の趨勢に後れざらんと努力せられたり。

本書は其間に成れる苦心の勞作十二章を收む。冷靜氷の如き理論に包むに、人類の愛、詩的情熱を以てする所、一卷の特色にして、又充分に著者の學風を味ふに足るべし。

特に又大戰の終結と共に、世界に於ける社會組織の變革將に近からんとす、此時勢の必要に應じて、社會の根本的性質を明かにし、社會的思潮の眞髓を味はむとする人士にとりては、最も有益なる大文字なり。

本書の要目

- 一 社會進化論の性質
- 二 社會法則の性質
- 三 統計的方法と歸納法
- 四 生死減少逆進行の法則
- 五 貧富と出生率
- 六 分離論

- 七 社會的定量の法則
- 八 分業について
- 九 家族の將來と社會の團結
- 十 資本家的集積說の研究
- 十一 優生學是非
- 十二 現代文明の迷妄—生産政策の否定

哲學研究 第四十一號 第四卷 大正五年(每月一回) (大正五年四月六日) 定価 金貳拾五錢

東京市日本橋區本石町 寶文館 振替東京〇八二番
大阪市東區淡路町 振替大阪三四番